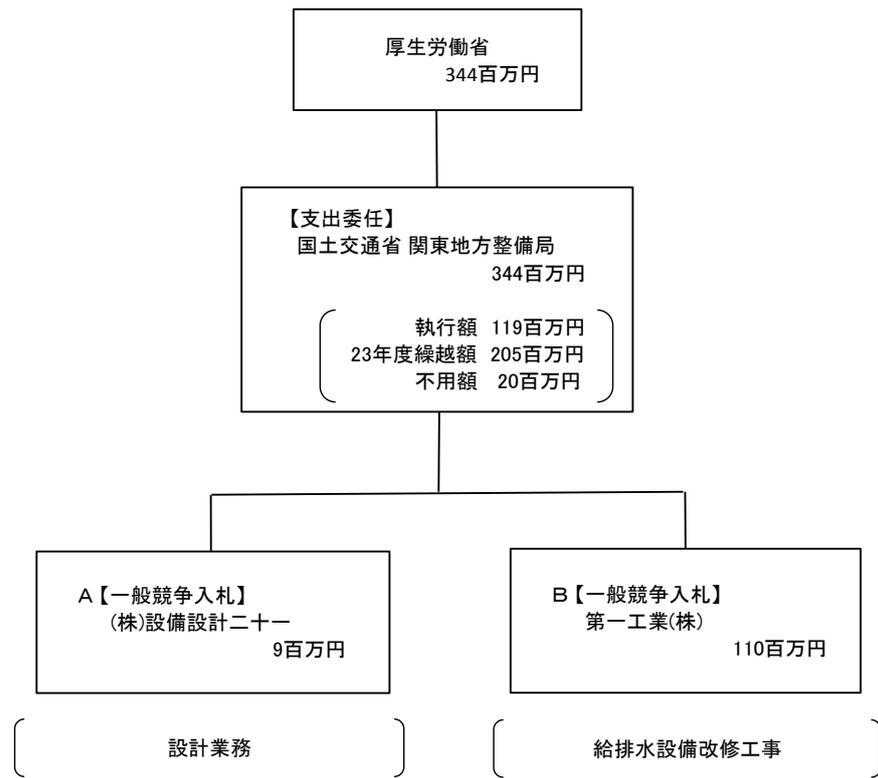


平成23年行政事業レビューシート (厚生労働省)

事業名	社会事業学校施設整備関係経費		担当部局庁	社会・援護局		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	平成21年度～23年度 平成24年度		担当課室	福祉基盤課		定塚 由美子		
会計区分	一般会計		施策名	IV-9-1 福祉サービスを支える人材養成、利用者保護等の基盤整備を図る				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	-		関係する計画、通知等	・社会事業大学経営委託費交付要綱 ・業務委託に伴う国有財産の使用にかかる契約書				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	(平成21年度～23年度) 教育環境の整備及び施設の安全性の確保を図るため、日本社会事業大学の給排水設備の更新を行うことにより、指導的福祉事業従事者の養成を推進することを目的とする。 (平成24年度) 学生の安全確保等を図るため、東日本大震災で被害のあった施設の改修等を実施することにより、復興を支える福祉・介護人材の養成を推進することを目的とする。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	(平成21年度～23年度) 国有財産である日本社会事業大学の給排水設備について、耐用年数を経過し現に漏水が疑われることから改修工事を実施するもの。 (平成24年度) 東日本大震災により被害のあった施設、老朽化した設備等について、学生等の安全確保及び防災機能の強化を図る必要があることから、改修・更新工事を実施するもの。							
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託等 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 貸付 <input checked="" type="checkbox"/> その他(国土交通省へ支出委任)							
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	当初予算	/	/	/	/	824	
		補正予算	/	348	/	/	/	
		繰越し等	/	/	139	205	/	
		計	/	348	139	205	824	
	執行額	/	0	119	/	/		
	執行率(%)	/	0%	86%	/	/		
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		/	単位	20年度	21年度	22年度	目標値 (年度)
	当該事業は、日本社会事業大学の施設、設備の工事を適正に行うことが目的であり、これは定量的な実績として示せるものではない。		成果実績	-	-	-	-	-
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		/	単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込
	当該事業は、日本社会事業大学の施設、設備の工事を適正に行うことが目的であり、これは定量的な実績として示せるものではない。		活動実績 (当初見込み)	-	-	-	-	-
単位当たりコスト	324,030,000(円/1工事あたり)		算出根拠	平成21年度～23年度契約額				
平成23・24年度予算内訳	費目	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由				
	施設施工旅費	/	5	東日本大震災復興関連事業(要求824百万円)				
	施設施工庁費	/	64					
	社会事業学校施設整備費	/	755					
		/						
		/						
計	/	824						

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・状況・予算の	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	－	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ・使途・費目・	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	－	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績・成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	－	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	－	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	－	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか	
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果		<p>○日本社会事業大学の施設や設備は国有財産であり、国において管理する責任がある。</p> <p>○支出については、国土交通省関東地方整備局へ支出委任しており、入札手続や工事の管理等、適正に行われている。</p> <p>○改修された日本社会事業大学の施設等により、指導的福祉事業従事者の養成が円滑に行われている。</p>	
予算監視・効率化チームの所見			
現状通り		<p>・本経費については、事業の必要性からの評価としても、概ね妥当であることから、引き続き効率的な執行に努めること</p>	
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
		<p>・引き続き効率的な執行に努める</p>	
補記 (過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			

※平成22年度実績を記入



資金の流れ
(資金の受け
取り先が何を
行っているか
について補足
する) (単
位: 百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロック
 ごとに最大の
 金額が支出され
 ている者につい
 て記載する。費
 目と使途の双方
 で実情が分かる
 ように記載)

A. (株)設備設計二十一			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
施設施工費	設計業務	9			
計		9	計		0
B.第一工業(株)			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
社会事業 学校施設 整備費	給排水設備改修工事	110			
計		110	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)設備設計二十一	設計業務	9	9	72%
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

支出先上位10者リスト

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	第一工業(株)	給排水設備改修工事	110	4	89%
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					